

研究課題名	橈骨遠位端骨折手術療法の成績に影響を与える因子の解析		
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科上肢機能解析制御科学 教授 砂川 融		
研究期間	2021年3月11日(倫理委員会承認後)～2026年3月31日		
対象者	2021年4月から2025年3月の間に、広島大学病院整形外科および研究協力機関において橈骨遠位端骨折のために手術を受けられた患者さん。		
意義・目的	<p>手首の骨折の1つである橈骨遠位端骨折は、特殊なプレートが開発されこれを使用した手術を行うことで非常に良好な治療成績が得られるようになってきました。しかし、より早く日常生活に支障のない手の機能を獲得するためにはどうすれば良いかについては解明されていません。今回、手術を受けられた患者さんのデータを詳細に解析することで機能回復に影響を与える因子を特定するために、この研究を計画しました。影響する因子が明らかになり、それに対する対策を行うことができれば、患者さんがより早く快適な日常生活に戻れることが期待されます。</p>		
方法	<p>本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。 カルテから転記する内容は性別、年齢、利き手、合併症、身体所見、画像所見、患者アンケート結果です。（個人が特定出来る情報は転記しません）</p> <p>カルテから氏名や住所等個人を特定できる情報を削除し匿名化した上で、本学に情報を集め解析します。</p>		
試料・情報の提供機関	機関名	責任者名	
	東広島医療センター	今田英明	
	松山赤十字病院	梶原了治	
	松山市民病院	大坪 晋	
	広島市立広島市民病院	竹内実知子	
	広島市立安佐市民病院	角西 寛	
	中国労災病院	中崎蔵人	
	林病院	高田治彦	
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科上肢機能解析制御科学 教授 砂川 融		
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずるこ</p>		

とはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5232

広島大学病院整形外科 助教 兒玉 祥 (担当者)

研究機関：広島大学